

平成30年10月10日
石川県健民運動推進本部
(県民交流課内)
076-225-1366(内線3894)

下 沢

「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール（記録・観察作品の部）、（感想文の部）、（ツバメのお宿シールの部）」の受賞者決定について

1 募集概要

ふるさとのツバメ総調査作品コンクール

○「記録・観察作品の部」、「感想文の部」

ふるさとの環境を見つめ、自然を愛護する心を育み、生き物への関心を高める機会となることをねらいとして実施しているツバメ調査について、写真、ツバメ新聞などの「記録・観察作品」、心に残ったことや理解したことの「感想文」を募集した。

○「ツバメのお宿シールの部」

ツバメの巣がある場所に貼ることで、次年度以降の目印として活用する「ツバメのお宿シール」の原画を募集した。

最優秀賞受賞作品は来年度の調査時に使用するシールの原画となる。

2 作品募集期間

平成30年5月17日～7月20日

3 応募総数

ふるさとのツバメ総調査作品コンクール

・記録・観察作品の部	17校		(前年12校)
・感想文の部	38校	916点	(前年33校 936点)
・ツバメのお宿シールの部	171校	1,867点	(前年159校 1,972点)

4 被表彰者

別紙のとおり

5 表彰式

日 時	平成30年11月18日(日)	午前11時～12時
場 所	県庁行政庁舎 19階	展望ロビー

6 展示会 「ふるさとのツバメ総調査パネル展」を下記のとおり開催する。

日 時	平成30年11月16日(金)～28日(水)	午前10時～午後8時
場 所	県庁行政庁舎 19階	展望ロビー
展示内容	入選作品等を展示	

7 その他 来年度に使用される「ツバメのお宿シール」は11月上旬頃作成予定

<参考> 第47回(平成30年度)ふるさとのツバメ総調査について

5月の愛鳥週間(5月10日～16日)に県内全公立小学校205校の6年生を中心とする、11,483人の児童がツバメ調査を行った。

47年間にわたって全県でツバメを調査しているのは石川県のみ。

ふるさとのツバメ総調査作品コンクール受賞者一覧

記録・観察作品の部

1	最優秀賞	加賀市立山代小学校	ツバメ調査のポスターとツバメ新聞
2	優秀賞	金沢市立田上小学校	ツバメ調査のポスター
3	優秀賞	珠洲市立蛸島小学校	ツバメ調査をまとめた冊子
4	佳作	内灘町立鶴ヶ丘小学校	ツバメ新聞
5	佳作	能登町立松波小学校	ツバメ新聞

感想文の部

1	最優秀賞	珠洲市立蛸島小学校	6年	パンジウ ナナミ 番匠 七海
2	優秀賞	金沢市立三谷小学校	5年	コマツ トモコ 小松 倫子
3	優秀賞	珠洲市立蛸島小学校	6年	ナカガワ ユツキ 中川 優月
4	優秀賞	内灘町立向栗崎小学校	6年	ツヤマ ユイ 津山 結
5	佳作	白山市立松任小学校	6年	ウラミ シュウヤ 上見 修矢
6	佳作	野々市市立館野小学校	6年	ムラモト タツヤ 村本 達哉

ツバメのお宿シールの部

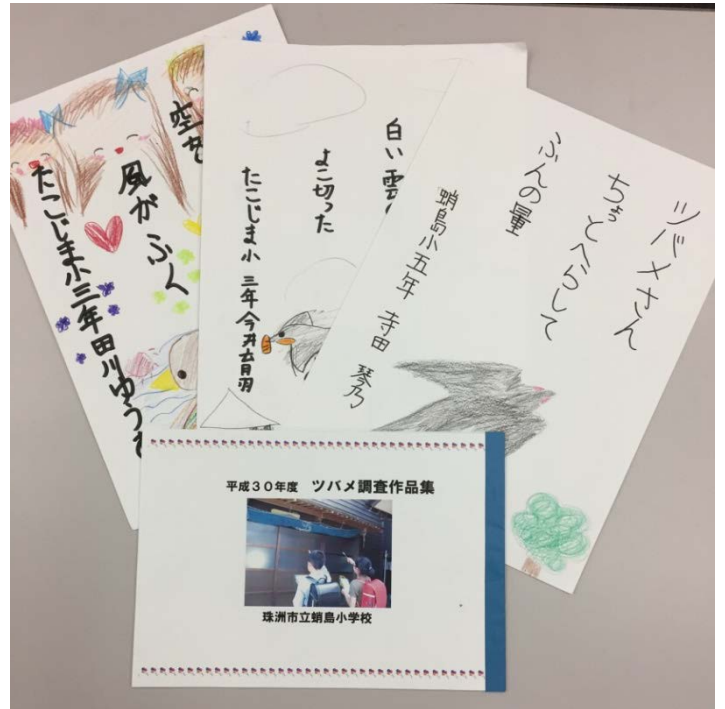
※第48回(2019年)に使用する

1	最優秀賞	珠洲市立正院小学校	5年	ヤチマエ ヨウダイ 谷内前 洸大
2	優秀賞	白山市立北陽小学校	6年	ホシノ コウセイ 星野 倅成
3	佳作	金沢市立千坂小学校	6年	オガワ ハノ 小川 羽希
4	佳作	金沢市立千坂小学校	6年	カツザキ マアヤ 勝崎 真彩
5	佳作	小松市立中海小学校	5年	シミズ ミリ 清水 美里
6	佳作	輪島市立町野小学校	4年	カワラ チカ 川原 千佳
7	佳作	加賀市立山代小学校	6年	イノウエ ハナ 井上 花

優秀賞 加賀市立田上小学校
(ツバメ調査ポスター3枚)

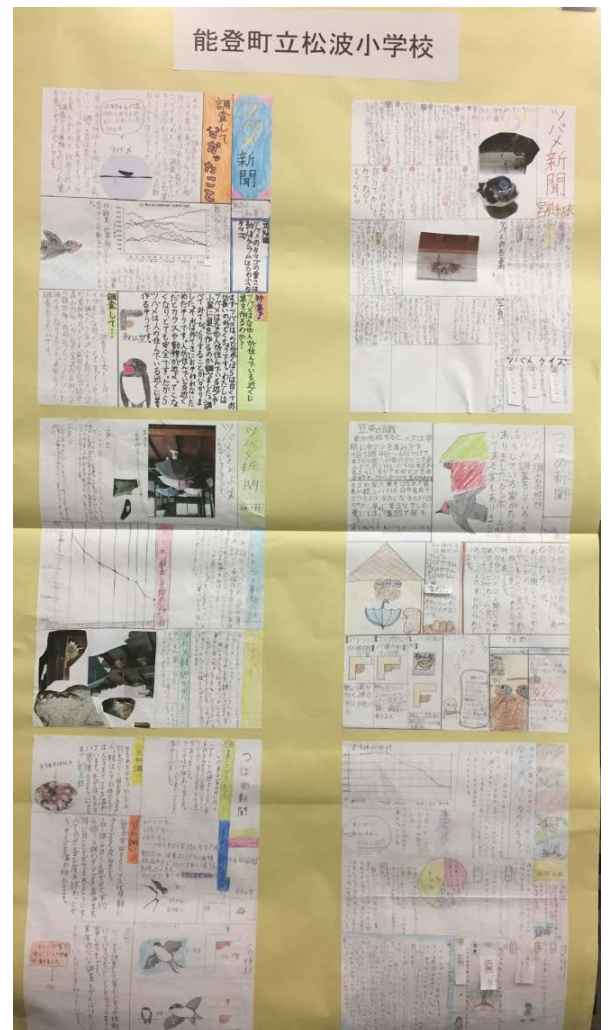
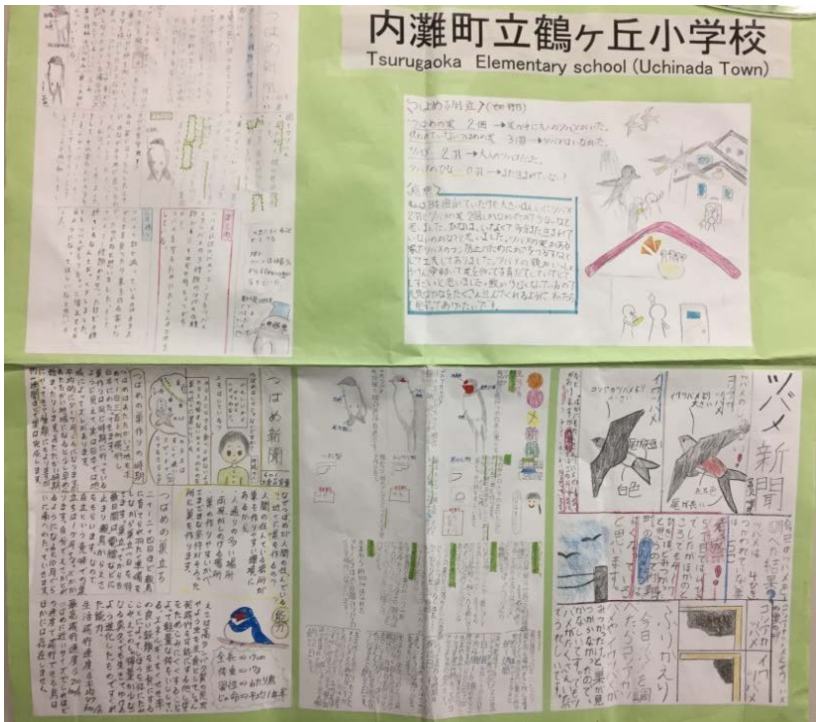


優秀賞 珠洲市立蛸島小学校
(俳句、感想文、地図、写真の合冊)



佳作 能登町立松波小学校
(ツバメ新聞27枚)

佳作 内灘町立鶴ヶ丘小学校
(ツバメ新聞35枚)



感想文の部

最優秀賞

「ツバメと人々の思い」

珠洲市立蛸島小学校 6年 番匠 七海

私は、ツバメ調査に参加して、2つのことに気付くことができました。1つ目は、「蛸島町には、ツバメを歓迎している人が多くいること」です。一軒一軒回ってインタビューすると、ツバメの巣がある家では、「ツバメが来るのを毎年楽しみにしとる」と言っていました。ツバメの巣がない家の人でも、「もし、家に巣を作ったら、歓迎する」と言っていました。そんな「歓迎する」という内容の話をした人がたくさんいました。私は、ツバメ調査をする前は、「ツバメは、フンを落としてよごすから、あまり歓迎する人はいないだろう。」と思っていました。私自身、フンでよごすツバメを歓迎する気持ちはあまりありませんでした。けれど、ツバメ調査に参加して、「町の人々はツバメをかわいがっているんだな。熱い思いをもっている人が、たくさんいるんだな。」と分って、ツバメが来たらいいなという気持ちに変わりました。2つ目は、「フンでまわりがよごれない工夫をしている家がたくさんあったこと」です。ツバメが巣にいて、フンを落としてもよいように、カサを開いてさかさまにつるしている家がありました。フンのためにカサを使う工夫を初めて見たので、びっくりしました。もし、私の家にツバメが来たら、カサの工夫をしたいと思いました。他に、巣の下に新聞がしいてあって、風でとんでいかないよう、四すみに石を置いてある家もありました。新聞紙の工夫は、あちらこちらの家でよく見かけました。私はツバメ調査に参加し、町のツバメは、町の人々のやさしきで支えられて生活していると思いました。そして、ツバメには、町の人を喜ばせてくれる不思議な力があることも分かりました。これからも、町へやってくるツバメが増えるといいなと思いました。

優秀賞

ツバメの変化

金沢市立三谷小学校 5年 小松 倫子

私は5月12日に5回目のツバメ調査をしました。去年よりもツバメが少なかったのも、残念でした。調査中は「ぜんぜんツバメがいないね。」という声がたくさん聞こえました。私の予想では去年よりもいるのではないのかと思っていました。しかし予想と違って去年よりもツバメは減っていたのでどうしてだろうと考えました。私たちの地域はツバメを守るため、ツバメが住みごごちの良くなるために、カラスにねらわれないように電気が流れる糸をつけたり、カラスが入って来ないような仕掛けを作ったりしていたし、カサをつるしたりもしていました。こんな工夫をしているのに、どうしてだろうと思いました。私達の町には家が19戸あります。ツバメは5羽で、古巣が5つ、新しい巣は3つありました。しかも、ツバメを歓迎していない人がいて残念でした。私は3つの疑問を持ちました。

- ・1つ目は、私が住んでいる町はツバメにとって住みごごちがいいのか？
- ・2つ目は、三谷地区の中でどの地区が一番ツバメの数が多いのか？
- ・3つ目は、今と昔ではどのようにかわっているのか？このことを調べたり考えたりして

みました。

1つ目は、納屋を閉めている人が多いので、ツバメにとって、巣を作る場所がなくなり、住みごちが良いとは思えないと考えました。

2つ目は高坂でツバメが20羽です。ツバメの巣が多いのは小池で17個です。古巣が多かったのは、正部で50個でした。この結果から昔からツバメがたくさんいたことを知りました。

3つ目は巣がくっつきにくい家の壁が増えていることや鳥インフルエンザも影響を与えていることを本で読んで分かりました。

このように昔と比べるとツバメの数が減り、ツバメも苦労しているのかなと思いました。私ができることがあれば協力したいです。また、ツバメを歓迎してくれる人が増えればいいです。私はツバメのことが好きだからツバメを守るための新しい対さくがあればやってみたいですね。

優秀賞

地域の人への思いがツバメに

珠洲市立蛸島小学校 6年 中川 優月

私は、ツバメ調査に参加して、「地域の人への思いややさしさがツバメの数に関係しているんだな」と思いました。ツバメ調査で「ツバメを歓迎している」と答えた人は、ほとんどの人だったし、「ツバメの巣がないけど、ツバメが家に巣を作ってくれたらいい」と言った人もいました。言葉だけではなく、実際に車庫の窓を開けて、ツバメが巣を作りやすいようにしたり、木の板を巣の下に打って、巣が落ちないようにしたりと、工夫している様子が見られました。地域の人へのツバメに対する強い思いが伝わってきました。私たちの町には、空き家が増えています。また、新しい家もどんどん建っています。町は少しずつ変わっていくけど、ツバメが住む環境はあまり変わっていないと感じました。なぜなら、地域の人へのほとんどがツバメを歓迎しているからです。新しい家の人でもツバメを追い払ったりしていないのを見ると、ツバメをとってもかわいがっていると思えました。私はこんな自分の町をほこりに思っています。ツバメの数がどんどん増えていくように、ツバメが住みよい環境づくりに私もがんばっていきたく思いました。

優秀賞

ツバメの大旅行

内灘町立向栗崎小学校 6年 津山 結

私はツバメ調査の事前学習を通して、今までなにげなく見ていたツバメがとってもえらいんだと知って、もっとツバメについて知りたいと考えるようになりました。私が最初にびっくりしたのは、ツバメは9月になると「渡り」というものをするということです。まさかあの小さなツバメが日本から約5000キロメートルもはなれたマレーシアで冬をこすだなんて……。私だったらきっと無理だなと思います。けれど5000キロメートルもはなれ

たマレーシアに行くツバメはえらいなと思いました。きっとその「渡り」で多くのツバメが死んでしまうと思います。しかし、一生けん命に5000キロメートルもの大旅行を終えたツバメはきっとたくさんの経験をし、成長していることと思います。

私が2番目にびっくりしたことは、ツバメは帰ってきたら巣を作る場所をさがしてオスとメスが出会い、巣をつくるということです。1週間ほどかかる巣作りは旅行帰りでつかれているのにとっても大変だからツバメはえらいなと思いました。もし私だったら旅行から帰っても「つかれた～」と言ってゴロゴロすると思います。改めて、ツバメはすごいなと思いました。このようにツバメについて知っていくうちに、ツバメをなにげなく見るのではなく、「がんばって！」と応援するように、見守っていきたいと思うようになりました。これからもツバメについてもっと調べてみようと思います。

佳 作

ツバメ調査をして思ったこと

白山市立松任小学校 6年 上見 修矢

昔はツバメがいたけど、今は古巣というところもそこそこあった。町中で、ツバメは、まったく見かけなかった。ツバメの巣も少ししかなかった。などの「メモ」と結果から、やっぱりツバメがとでも減っているなと思いました。ぼくのおじいちゃん、おばあちゃんの家にもツバメがいたけど、いまはなぜかもういません。去年の横・相木・西新と比べると、相木や西新まではあまり探せなかったことも、あるかもしれないけど、成鳥や古巣は今年のほうが少ないです。自然環境が悪くなっていることも理由の1つだと思いました。インタビューで「ツバメは人間を警戒している」と言った人もいました。だから、予想だけど、ツバメをあまり見なくなったのは人間が原因かもしれません。自動車から二酸化炭素を出したり、温暖化など環境破壊もあります。だからツバメに限らず生き物は大きな命も小さな命もできる限り大事にしたいと思います。ふだん、あたり前のようにやっていることでも、一歩立ち止まって、それが他の生き物に害をあたえないか考えたいと思いました。

佳 作

ツバメ調査

野々市市立館野小学校 6年 村本 達哉

今回、ツバメ調査を実施して、残念ながらツバメやツバメの巣、古巣は見つかりませんでした。自分たちが調査した地区には過去、6か所でツバメの巣が発見されたところがあったけど、今回の調査では巣は見つかりませんでした。もしかしたら、この地域の自然環境が少しずつ悪化してきているのかもしれないなと思いました。また、地域の方にお話を聞かせていただき、その方もツバメや巣は見えていないとおっしゃっていました。この地域のツバメやツバメの巣が減ってきているのは残念でした。だけど今後ツバメが少しでも増え自然環境が悪化しないようにするために自分の行動が自然環境を守ることにつながるかどうかを考えていきたいと思っています。

ツバメのお宿シールの部

最優秀賞 (2019年度のシール)

優秀賞



珠洲市立正院小学校
5年 谷内前 洸大



白山市立北陽小学校
6年 星野 倅成

佳作(5点)



金沢市立千坂小学校
6年 小川 羽希



金沢市立千坂小学
6年 勝崎 真彩



小松市立中海小学校
5年 清水 美里



輪島市立町野小学校
4年 川原 千佳



加賀市立山代小学校
6年 井上 花

ふるさとのツバメ総調査
「作品コンクール」(感想文の部、記録・観察作品の部、ツバメのお宿シールの部)について

年度	回	感想文の部				記録・観察作品の部				ツバメのお宿シール				使用年度	実施回数
		応募総数	最優秀賞	優秀賞	佳作	応募総数	最優秀賞	優秀賞	佳作	応募総数	最優秀賞	優秀賞	佳作		
平成17年度	34									632	1		5	H18	1
平成18年度	35	280	1	1	0	16	1	2	1	208	1		2	H19	2
平成19年度	36	307	1	1	2	14	1	2	1	885	1	1	5	H20	3
平成20年度	37	324	1	1	3	8	1	1	1	1,121	1	1	6	H21	4
平成21年度	38	541	1	2	3	8	0	0	0	1,085	1	1	5	H22	5
平成22年度	39	512	0	3	2	7	0	0	2	1,215	1	1	6	H23	6
平成23年度	40	438	0	1	4	18	1	1	1	1,283	1	1	6	H24	7
平成24年度	41	581	1	1	4	14	1	1	0	1,445	1	1	7	H25	8
平成25年度	42	569	1	2	1	12	1	2	0	1,696	1	1	7	H26	9
平成26年度	43	739	1	4	5	19	1	1	1	1,583	1	1	8	H27	10
平成27年度	44	451	1	2	8	19	0	2	0	1,687	1	1	10	H28	11
平成28年度	45	532	1	1	3	12	0	2	1	1,615	1	1	6	H29	12
平成29年度	46	936	1	2	4	12	1	2	1	1,972	1	2	6	H30	13
平成30年度	47	916	1	3	2	17	1	2	2	1,867	1	1	5	2019	14
延数		7,126	11	24	41	176	9	18	11	18,294	14	13	84		